



ゴルフビジネスのプロが30年以上回って見て聞いて感じた世界のゴルフ文化をお伝えする当連載。第16回はクラブキャプテンについてのお話です。

## クラブ同士の対抗戦の まとめ役が役割

ゴルフの総本山・英国のR&Aでは、毎年9月にセント・アンドリュース・オールドコースの1番ティグラウンドで、1863年から続く伝統行事が実施されます。R&Aの新キャプテン就任時の「ドライビングイン・セレモニー」です。8時ピッタリに合図の大砲とともに、ティオフをします。以前はトーナメントの優勝者がキャプテンを任されてきたようですが、現在ではR&Aの年次総会で決定されるため、新任者は一人でティオフをして、その瞬間に優勝者となり、キャプテンに就任するのです。

打たれたボールは日本の福男の祭りさながらに、ハウスキャディたちが記念の金メダル目当てに競って獲り合うなど、見物している側も盛り上がる行事なのです。

R&Aのような国際的なクラブのキャプテンともなると、ゴルフの普及活動のために全世界を回ったり、マスターズなどのメジャー大会に招待されたり、重要な会合に出席するなど名譽な本業だけでなく、いわばゴルフ大使のような重要なコミットメントが任されます。歴代のキャプテンが、オーストラリア人やフランス人などスコットランド出身に限られていない事もユニークです。

R&Aだけでなく、英国ではプライベートやメンバー主体の

ゴルフクラブでは必ずキャプテンが選ばれて活躍しています。男性だけでなく、女性のキャプテンもいます。元々は他のゴルフクラブと行われる

対抗戦のチームのまとめ役が大切な仕事。クラブメンバーと他のゴルフ場でコ

ンペを開催する際に場所を選定したり、親睦活動の中心となつて、クラブのメンバーが楽しめるためにパーティーを主催したり、コンペの際には結果の発表や食事会でのジョークを交えたスピーチなど、あらゆる場面でメンバーの陣頭指揮を執るので

## スポーツマンシップの 伝道師がクラブキャプテン

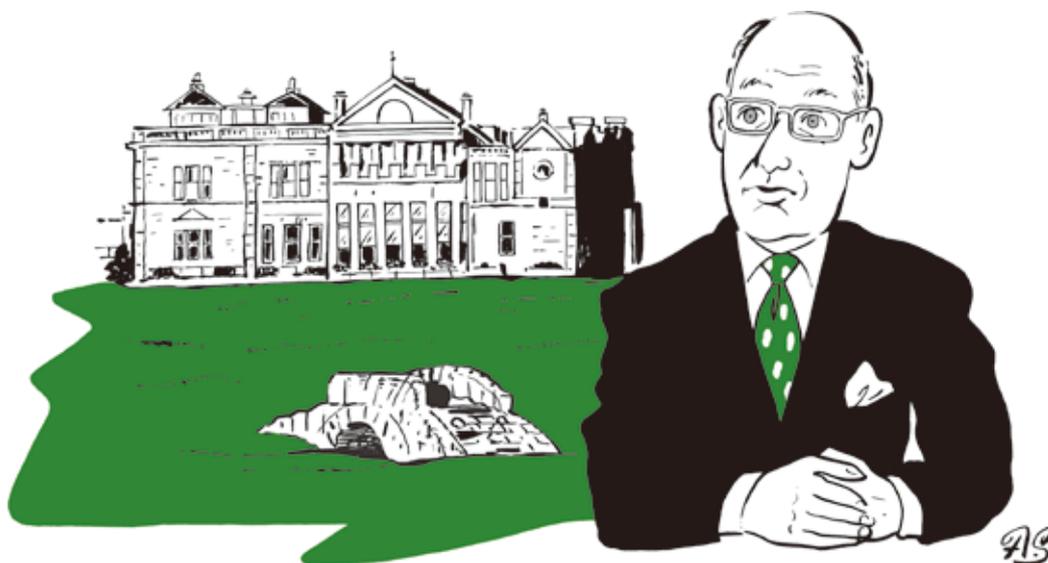
忘れてはいけない役割としては、少々口うるさく思われようとも、ゴルフのルールやエチケットを周知させること。ゴルフは自分との戦いとも言われるとおり、自らルールを守り、スポーツマンシップを示しながらプレーをするゲームですから、マナーの悪いメンバーには注意をしたり、特にジュニアのプレーヤーには一緒にラウンドしながらエチケットを教えたり、コンペの競技委員として手伝ったりしながら、ゴルフを本気で愛する仲間を作っています。メンバーから選ばれるキャプテンは自然と皆から尊敬されるような方が多い気がします。

英国のプライベートクラブでは、会長がトップのポジション

Vol.16

クラブキャプテン

## ルールを守り続ける クラブキャプテンの 重量な役割



に就くのですが、キャプテンはほぼ毎日ゴルフ場に来て各コミッティーの会合に出席して意見をまとめるだけでなく、メンバーの相談を受けるなど、実際の運営はキャプテンが一任されている場合が多いのです。R&A同様に任期が1年の場合がほとんどで、多くのトップゴルファーにキャプテンとしてクラブの運営の経験をしてもらい、皆で楽しめるゴルフクラブを作り上げる仕組みになっていますね。

日本のゴルフ場でもクラブキャプテンと言う肩書きが存在します。専用の駐車スペースが与えられるような、いわば名譽職的な位置づけや、体育会系のクラブですとクラブ対抗に出場するレベルの方やスクラッチプレーヤー級の方が就いている場合もあります。残念ながらも前だけの方が多く任期もまちまちです。ゴルフの将来が安泰でない今だからこそ、スポーツマンシップの伝道師とでも言えるようなクラブキャプテンが求められるのではないのでしょうか。

## ゴルフビジネスの プロフェッショナル

神野方仁 (じんの・みちひと)  
1956年生まれ。テレプランニング・インターナショナル株式会社代表取締役社長。国内外の様々なスポーツビジネスに関わり、中でもゴルフはマスターズのようなメ



ジャー大会からジュニアゴルフに至るまで、イベント、放送、広告、マーケティングなどの面に長年携わっている。日記を公開中 Fast Track Michi's Diary  
www.tpi-j.co.jp/diary/index.html

イラスト/ソリマチアキラ